

1. 教育目標

脳神経外科が治療対象としている疾患の病態を理解し、新しい治療法や診断方法を開発することを目的とする。また神経科学の基礎分野における最近の知見についても学ぶ。

2. 到達目標

- (1) 神経再生・脳血管障害・脳腫瘍等の基礎実験を行うことができ、かつ臨床研究に向けての筋道を理解することができる。
- (2) 脳血管障害の病態・診断・治療を理解し、新規治療法の知見を得ることができる。
- (3) 頭頸部血管障害の画像診断を理解し、新たな診断方法の計画・立案ができる。
- (4) 臨床研究に必要な計画・立案を行い、統計学的な解析を行うことができる。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

毎週研究カンファレンスを催し、研究の進捗状況を確認評価する。(30%)

研究室抄読会にて最新の研究知識をアップデートする。(30%)

学位論文作成過程では、適宜発表会を行い、状況を把握検討する。(40%)

4. 教科書・参考書

必要に応じて参考資料を配付する。また、最新文献を渉猟する。

5. 準備学習

授業テーマに沿ってあらかじめ文献学習を推奨する。(2時間)

積極的に当科及び他科のカンファレンスに参加し知識を深める。(1時間)

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【脳神経外科学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	グリオーマの外科治療と画像解析	阪本講師 飯田助教	月曜/2限	半年	2	カンファレンスルーム
実験研究	臨床及び実験脳卒中学	吉村主任教授 白川臨床准教授 内田准教授	水曜/3・4限	通年	4	研究室
実験研究	パラフィン・凍結切片作成法、免疫組織化学法	藏本講師 立林助教	木曜/3・4限	通年	4	研究室
演習	外国文献抄読会と研究経過発表	吉村主任教授 陰山准教授	木曜/5限	半年	2	カンファレンスルーム

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	パラフィン・凍結切片作成法、免疫組織化学法	藏本講師 立林助教	月曜/6・7限	通年	4	研究室
講義	グリオーマの外科治療と画像解析	阪本講師 飯田助教	火曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム
実験研究	臨床及び実験脳卒中学	吉村主任教授 白川臨床准教授 内田准教授	水曜/6・7限	通年	4	研究室
演習	外国文献抄読会と研究経過発表	吉村主任教授 陰山准教授	木曜/7限	半年	2	カンファレンスルーム

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	頸動脈プラーク性状評価と臨床応用	白川臨床准教授 内田准教授	月曜/3・4限	通年	4	研究室
実験研究	脳卒中モデルの作成と解析	藏本講師 立林助教	火曜/3・4限	通年	4	研究室
演習	研究経過発表と討議	吉村主任教授 陰山准教授	金曜/3限	通年	4	カンファレンスルーム

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験研究	神経再生の基礎と臨床応用	藏本講師 立林助教	火曜/6・7限	通年	4	研究室
実験研究	脳卒中モデルの作成と解析	白川臨床准教授 内田准教授	木曜/6・7限	通年	4	研究室
演習	研究経過発表と討議	吉村主任教授 陰山准教授	金曜/7限	通年	4	カンファレンスルーム